

大規模災害発生

災害時観光客帰宅困難対応
および帰宅支援対策運用訓練

救助

避難

帰宅支援

要事前申込

詳細は裏面を
ご覧ください。

開催日時 2025年11月11日(火)
10:00~16:00 (2部構成)

第1部：観光客の立場での体感型訓練
10:00~12:00

第2部：災害時対応・帰宅支援対策セミナー
13:00~16:00

会場 沖縄空手会館 (豊見城市字豊見城854-1)

参加対象 行政機関 (国・県・市町村)、地域観光協会、
観光関連団体・事業者 など

申込期限

2025年
10月20日(月)
17:00まで

お申込はこちらから
↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓



第1部：観光客の立場での体感型訓練 10:00～12:00

発災時に体感するであろう「焦り」「不安」「混乱」を、限られた制限時間の中で体験。

映像、音響、照明など、リアリティのある空間にて、参加者と協力し様々な防災ミッションをクリア、安全確保を目指す、大仕掛けな体感型訓練です。

全国34都道府県にて実施、累計9万人動員の人気コンテンツを、今回はオリジナルの仕様にて、旅行者としての視点で展開。グループに分かれ協力し合い、発災時の緊迫した状況下で、迫り来る制限時間の中、旅行者の立場で自分自身の身の安全の確保を目指します。

扱うテーマの事例

- 旅行時に必要となる防災グッズ
- 宿泊時、火災発生時の注意点
- 津波からの避難の注意点
- 避難時の注意事項 ●安否確認
- 応急救護 ●情報収集 など



体感型訓練の流れ

- ① グループに分かれ、制限時間内に様々な防災ミッションクリアを目指します。
- ② 体験した気づき、発想などをシェアするとともに、旅行者自身が必要とする要望や対応すべき課題を検討します。

第2部：災害時対応・帰宅支援対策セミナー 13:00～16:00

文字やテキストだけで説明するのではなく、災害発生時に起こりうる様々な事象を「再現ドラマ」にて放映。本研修では参加者は単なる視聴者ではなく、当事者として「没入体験（イマーシブ）」をする機会を創出します。

今回は、沖縄県地域防災計画において想定される地震・津波の被害想定に基づいた事象を想定し、第1部での体験をもとに、発災直後に発生しうる様々な機関、施設、担当者での初動対応や帰宅支援にかかる対応の検討、およびシミュレーションを実施します。

発災直後から数日間の中で、発生しうる様々な事象を疑似体験。



研修内容事例 ※内容は変更となる場合もあります。

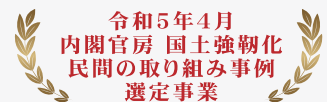
- 発災！自身の職場の安全の確認
- 県内各所で怪我人が発生！その時あなたは？
- 交通網が停止！各現場での対応は？
- 大規模なライフラインの停止が発生！対応と準備
- 職員の安全管理について
- 外国人や障がい者など、要配慮者への対応について など

再現映像を通し様々な事象を疑似体験。グループで課題を洗い出していきます。

今回の防災訓練を実施する株式会社フラップゼロアルファについて

代表自身の阪神淡路大震災の被災体験をもとに、被災経験のない方々に「いかに災害を正しく恐れいただき、自助、共助を高めていただくか」を目的として楽しく真面目に防災に取り組んでいただけるように「防災×エンターテインメント」を融合した訓練として2015年より「体感型防災アトラクション®」を運営。コロナ禍では今まで集まることが一択であった防災訓練の概念を覆す「リモート型防災アトラクション®」（特許第7402363号）を発表。令和5年には「内閣官房 国土強靱化民間の取り組み事例 選定事業」を選定。

令和7年7月には内閣総理大臣官邸国際広報室が管理する日本政府公式SNSにてG7主要国をはじめとする英語圏へ事業の取組が発信されました。



体感レベルMAXな集合型訓練
体感型 防災アトラクション®

全国どこでも参加可能！防災訓練のDX
リモート型 防災アトラクション®

「体感型×リモート型」をセミナー形式で体験
イン・パーソン型 防災アトラクション®

お問い合わせ：一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 総務企画部 総務企画課 危機管理チーム

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄 1831 番地 1 沖縄産業支援センター 2 階

TEL：098-859-6126 E-mail：kikikanri@ocvb.or.jp

